10.4 地域の公共交通×脱炭素化移行促進事業／グリーンスローモビリティ導入促進事業

①島根県大田市・世界遺産石見銀山遺跡内におけるグリーンスローモビリティの導入

大田市（島根県大田市／地方公務）

【HP】https://www.city.oda.lg.jp/　【備考】代表申請者　ごうぎんリース株式会社（島根県松江市／リース事業者）

赤文字：該当箇所 ｜ 灰色文字：該当外

補助事業の紹介

補助事業名	地域の公共交通×脱炭素化移行促進事業
補助事業の概要	① グリーンスローモビリティの導入調査・促進事業 ② 交通システムの省CO_2化に向けた設備整備事業
実施目的	グリーンスローモビリティやLRT・BRT、省エネ鉄道車両等を地域の公共交通へ導入するとともに、利用するエネルギーとして再生可能エネルギーの積極利用を促すことで、2050年カーボンニュートラルに資する地域の脱炭素交通モデルを構築する。
交付対象	地方公共団体 ｜ 民間事業者等
補助率	① 1/2

①島根県大田市・世界遺産石見銀山遺跡内におけるグリーンスローモビリティの導入

事業の概要

補助金額	補助金額	約448万円
	補助率	1/2
導入設備	従前設備	実証実験用のグリーンスローモビリティ
	導入設備	グリーンスローモビリティ
事業期間	稼働日	2024年4月
備考	台数 運行ルート 運行本数	台数：2台 運行ルート：大森代官所跡⇒下河原吹屋跡⇒龍源寺間歩（延長3.5km） 運行本数：12～14便／日





グリーンスローモビリティ

事業の効果

エネルギーコスト	CO_2削減効果	副次的効果
▲約55（万円／年）	約8.5（t-CO_2／年）	・世界遺産・石見銀山遺跡における環境配慮型の持続可能な観光地域づくりに貢献 ・交通不便地域や高齢者等の移動ニーズに対応 2024年度利用実績：約24,000人
投資回収年数	CO_2削減コスト	
ー（年）→ ー（年）	8.8（万円／t-CO_2）	

※ エネルギーコスト：電力単価：21.6円／kWh（出典：電力・ガス取引監視等委員会HP）、軽油単価：156,969円／kL（出典：資源エネルギー庁統計石油製品価格調査）を用いて算出。
※ 投資回収年数：補助なし→補助ありを示す。「事業費÷（エネルギーコスト削減額＋ランニングコスト削減額）」によって算出。
※ CO_2削減コスト：「補助額÷（CO_2削減効果×耐用年数）」によって算出。

事業者の声



柳原 哲馬｜**大田市　産業振興部観光振興課　係長**

大森地区では、世界遺産登録に伴うオーバーツーリズムの問題を受け、2019年度より環境省実証事業の採択を得てグリーンスローモビリティ「ぎんざんカート」の運行を開始しました（2022年度から本格運行）。国から貸与を受けていた車両の返却決定に伴い、ごうぎんリース株式会社と協議の上、補助金制度を活用し新規設備の導入を実施しました。

実証事業期間中に収集した利用者ニーズ等を考慮しつつ、地元事業者との連携体制を構築し、「ぎんざんカート」の運行サービスを継続しています。「ぎんざんカート」は観光客を中心に好評を得ており、利用者数も増加傾向にあります。